

初等中等教職員国際交流事業

過去のプログラムにおける活動と参加者の声

1. 全校児童による歓迎集会



【海外教職員の声】

最も深く印象に残っているのは、小学校を参観した際に 1 日の流れを見学したことです。ゼロ距離での見学と交流を通じて、教育方法や子どもたちの教育過程について非常に直感的に理解することができ、大きな収穫がありました。

(写真：中国教職員に手作りの記念品をわたす様子)

2. 海外の教職員による文化授業



【海外教職員の声】

日本の生徒に授業する経験は貴重な機会でした。より深く関わることができ、あっという間に親しくなった気がしました。

【受入れ機関の声】

子どもたちは、韓国の先生方と積極的に交流し、とても楽しそうでした。交流を通じて、準備段階から子どもたちは異文化に対する関心を深め、多様性を尊重する気持ちを育むことができたと感じています。言葉の壁を乗り越えてコミュニケーションを取ることで、子どもたちは自信をつけ、今後につながる積極性を身につけることができました。

(写真：韓国教職員が韓国の伝統的な遊びを紹介する様子)

3. ホームビジット



【参加者の声】

様々な年齢層で構成された日本の家庭の一員となり、直接生活を体験できたことは、お金でも買えない貴重な機会でした。改めて、人間と人間が純粋な心で交流し、お互いの心と考えを分かち合える時間がどれほど貴重なものであるかを深く実感しました。

【受入れ家庭の声】

当初長いと思っていた 3 時間があっという間に過ぎ、大変楽しく有意義な経験をさせていただきました。会話の不自由は、翻訳ア

プリの活用であまり気になりませんでした。学校の先生方だけに、学校や生徒の話を熱く語られていたのが印象的でした。

(写真：韓国教職員と手巻き寿司づくり)

4. 教職員交流会



【海外教職員の声】

- ・(日本の先生とのペア交流を通じて) 学校のことや趣味など幅広い話題について意見交換することができました。
- ・教職員交流会に参加し、日本の先生とのネットワークが生まれ、学校間交流まで発展させることができました。

【日本教職員の声】

これまでの教師人生でこれほど充実した研修、セミナーは初めてかもしれません。韓国の先生方と連絡先を交換し、毎日のようにやりとりが続いています。お互いに使っている教材や指導法をシェアしたり、互いの学校で起こっていることを相談しあったりすることはもちろん、互いの国の気温や、休日の話など、写真や動画で交換しています。



(写真：日印教職員交流会、日タイ教職員交流会)

上記の活動以外にも例年、各受入れ機関の特色を活かした活動が展開されています。受入れにご協力いただく際は、ぜひ様々な交流のアイデアをお聞かせください！